

20041

約1ヶ月の準備期間で発足した新生カテチームのCEの現状

【背景】当院は病床数300、2014年度PCI70件、横浜市に位置する中核規模病院である。当院の臨床工学技士(CE)は、常勤17名(心血管インターベンション技士1名)、ローテーション体制で業務を行っている。2015年5月、当院の循環器内科が一新され、それに伴い医師が行っていたセカンドをCEが行う体制に変更、医師1名(常勤7名)、セカンドCE1名、外回りCE1名、看護師1名、放射線技師1名の新体制で心カテを行っている。約1ヶ月の準備期間で発足した新生カテチームのCEの現状について報告する。【準備】期間:2015年4月21日～2015年5月31日。新たに追加されたOCT/OFDI、CAS、PCPSの扱いを含め、Dr to CE、CE to CEのハンズオン・座学教育、研修・学会・研究会への参加、院外ラボ研修、院内シミュレーションにより、手技習得、急変時対応、PCPSトレーニングを行った。【現状】2015年6月末現在、フレーミングや準備に時間がかかったり、状況判断や画像読影が出来ていなかったり、スタッフによりレベルに差があるが、2015年6月はセカンド56件(PCI30件)をこなしている。また、2015年6月、CPAで搬送されてきたSTEMI症例を経験し、トレーニングの成果を発揮した。【結語】セカンドCEと外回りCEが互いの手技を理解しているため、IVUSなどの準備にタイミングを取りやすいなどのメリットが感じられた。また、これまで受身の姿勢だった外回りCEも積極的に状況を先読みしようと努力し、薬の準備やカテ出しに気を遣うようになってきた。状況判断できるCEを育成し、全体をバックアップできるよう努力したい。